

小噺・落語入門サロン

■ 前 座 (今日の話題・話のネタ)



落語歳時記シリーズ

神無月(10月)の落語 「転失気」

ある寺の和尚が体調を崩したので、医者に診てもらったところ、「てんしき」はありますか？と聞かれた。意味が分からない和尚。和尚は知らないと言えない。

『転失気はありません』と答えてしまう。

和尚は、珍念を呼びつけて『珍念よ、おまえは転失気を知っているな？』

「存じませんが、転失気とは何ですか？」分からないなら近所の人に借りてきなさい。と珍念に転失気を借りてくるように命じたのです。しかし、近所の人も知ったかぶりをして言う事がバラバラで珍念には転失気が分からない。

そして珍念は和尚の薬を取りに医者を訪ねた際に転失気とは何かを尋ねた。

医者が言うには転失気とは、気を転め失うという言葉から転失気、つまり屁(おなら)の事だと教わった。和尚は転失気を知らないと悟った珍念は「転失気」とは盃の事だそうですよ。と嘘をついた。そうだ「転失気」とは酒を呑む器と書いて呑酒器(てんしゅき)というのだ。よく覚えておきなさい。と和尚。

翌朝、医者を訪ねた和尚は、昨日は転失気がないと言ったんだが実はありました。

ご覧にいれましょう。「珍念や呑酒器を持っておいで」珍念は言われた通りに呑酒器を持っていくが笑いが止まらない。

呑酒器を見た医者が、これは盃ですな。わたくしどもは転失気は放屁の事を言いますが寺では盃の事をいうのですか？

ここで和尚は珍念に一杯食わされたと悟る。

「珍念、こんな事で人を騙して恥ずかしいと思わんのか？」「屁でもありません」

てんしき



■ 二つ目 (小咄の稽古)

映像や音声から学ぶ、小ばなしのコツ・つぼ
「プロに学ぶ小噺の話し方」落語の時間 “抜け雀”
そのあと、皆さんの小ばなし披露とアドバイス

■ 大喜利

今回も 謎かけ で、お題は「ハロウィン」「運動会」とかけて

次回は2025年 11月10日(月)とか